

絵本「春ちゃんは元気です。」の語り部としての取り組み

◆生◆日本骨髄バンク様からのご依頼で昨年11月30日に◆福井市足羽（あすわ）中学校にて◆教職員、在校生470名対象で行われた「PTA家庭教育委員会主催 日本骨髄バンク絵本朗読会・語り部講演会」の絵本「春ちゃんは元気です。」の語り部の務めました。

◆この絵本は実話をもとに白血病になった4歳の女の子の闘病生活を描いたものです。

読み聞かせに向けて、大切なポイントとして◆以下の3つを考えました。

- ① 白血病と骨髄バンクについての勉強会を行い、表現者として必要な知識をつけました。
- ② ◆中学生対象で聞き手から見える位置での朗読ということで通常よりも登場人物の感情の起伏を強めに表現をし、顔や手の動きでも感情が伝わるよう工夫しました。
- ③ ◆朗読は一人の読み手が行うのが通例ですが、今回は3名でナレーションや登場人物などで読み手をかえました。これは聞き手が混乱することを防ぐため、そして感情移入をしやすくするための工夫です。

◆日本骨髄バンクのご担当者様、足羽中学校の先生方からもこれらの工夫については大変高い評価をいただき、◆会場では涙ぐむ中学生や先生たちの姿が見られました。
◆またアンケートにもご協力を頂いたところ在校生415名からご回答を頂くことができました。アンケート結果はご覧の通りです。

◆骨髄バンクに登録をするということは大変勇気がいることですが、43.6%もの方から18歳になったら骨髄バンクに登録するつもりとのご回答をいただくことが出来ました。

◆また自由記述欄でも大変嬉しい感想をいただくことが出来ました。ほんの一部ですが紹介させていただきます。

本日は絵本から一部の抜粋ですが朗読をお聞きいただきたいと思います。

（ここからパフォーマンス）

- ◆春ちゃんは4歳になって間もない秋に「急性リンパ性白血病」にかかってしまいます。
- ◆その日からすぐ入院。点滴の注射、とっても苦い薬、毎日泣いて過ごしました。◆大好きな弟や妹とも自由に会えません。
- ◆点滴に繋がれた生活、◆クリーンルームでの1人の夜。検査に次ぐ検査を乗り越え春ちゃんは
- ◆ドナーに巡り合うことが出来ました。骨髄移植も成功し、◆お家に戻って半年、春ちゃんはこのままずっと家族と一緒に。そう信じていました。

ここから朗読。

P24～26

◆2度目の入院では春ちゃんは1人での夜を泣かずに過ごせたり、◆同じ境遇の子供達を励ましたりして、パパとママをととても驚かせました。

◆この後この絵本では2度の骨髄移植を乗り越え◆中学生に成長した幸せな春ちゃんの姿が描かれており、◆最後はこの言葉で締めくくられています。

◆P.S.春ちゃんは今日も元気です。

◆タイトル◆ご清聴ありがとうございました。